

# KENCON COOP JOURNAL

【建コンコープジャーナル】2026年1月24日発行 通巻第125号

No. 125

編集/発行  
建設コンサルタンツ協同組合  
Japan Consulting Engineers Cooperation

〒110-0001  
東京都台東区谷中3-1-5 谷中ミハマビル303号  
TEL. 03-5834-7760 FAX. 03-5834-7761  
URL <http://www.kencon-coop.or.jp>  
E-mail [webmaster@kencon-coop.or.jp](mailto:webmaster@kencon-coop.or.jp)

PDF版



建設コンサルタンツ協同組合 理事長

藤本 尚伸

交流の場の創設や情報共有に注力。  
課題や成功事例を持ち寄れる環境づくりを。



建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

山内 一晃

受注の確保、人員確保、技術継承など、  
「相互扶助の精神」のもと情報共有と問題解決を。



建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤條 豪史

「丙午」の年を「飛躍元年」として、  
情熱と変化、挑戦と飛躍、リーダーシップを。



## PDF版

藤本尚伸理事長ご挨拶	1
山内一晃副理事長ご挨拶	2
藤條豪史副理事長ご挨拶	3
組合員名簿	4

### 建設コンサルタント技術者の心得

建設コンサルタント技術者はその使命と職責を自覚し、社会的地位の向上を図るために、下記の各条を実践する。

#### 一. 人格の形成

知的産業に従事する職業人としての常識と教養を身に付け、さらに敬愛される人格の形成に精進する。

#### 二. 技術力の向上

あらゆる機会に合理性と創造性を追求し、常に高い技術力の修得に努力する。

#### 三. 倫理の徹底

いかなるときも中立的立場を堅持し、秘密を厳守して、クライアントおよび公共に不利益をもたらさない。

#### 四. 公共の福祉増進

建設関連業を通じて、公共の福祉増進に貢献し、地域ひいては国家の繁栄に寄与する。

この「心得」は企業としてのモットーであるべきであると同時に、建設コンサルタント業の社員一人一人の心得るべき事項でもある。社内規定等に採用するとともに、あらゆる機会にこれを表示して、建設コンサルタント技術者の認識と社会的地位向上のために資していただきたいと考えるものである。

「建設コンサルタント技術者の心得」は第6代福岡保理事長の提案で常設の「経営研究会」が設置され、当協同組合のモットーともいふべき標語の検討にかかった。慎重審議を重ね、平成2年3月23日の理事会で制定をみるに至った。

# ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合 理事長

藤本 尚伸



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと拝察し、旧年中に賜りました多大なるご支援とご協力に対し、心より厚く御礼申し上げます。皆様お一人おひとりのご尽力が、当組合の活動を支え、地域の建設コンサルタント業界の発展に確かな力を与えてくださいましたことを、改めて深く感謝申し上げます。

近年、私たちを取り巻く環境は、技術革新の急速な進展、社会資本整備の多様化、さらには人材確保の難しさなど、これまでにない変化と課題が複雑に絡み合う状況となっております。こうした時代の転換点において、地域に根ざした中小企業が持続的に成長していくためには、個々の努力に加え、組織としての結束力と相互支援の仕組みがこれまで以上に重要になってまいります。互いに知恵を持ち寄り、経験を共有し、連携を深めることで、私たちの専門性と信頼はより強固なものとなると確信しております。

本年、当組合は、これまで以上に組合員の皆様に寄り添い、実りある活動を展開してまいりたいと存じます。とりわけ、交流の場の創設や情報共有の機会の拡充に力を注ぎ、業務上の課題や成功事例を気軽に持ち寄れる環境づくりを進めてまいります。こうした取り組みを通じて、組合全体の技術力・経営力の底上げを図り、業界の発展に寄与する力をさらに確かなものとしていく所存です。

また、中小企業団体として果たすべき役割を改めて自覚し、経営基盤の強化や人材育成、働きやすい環境づくりなど、持続的な発展を支える取り組みを一層推進してまいります。厳しさを増す経営環境の中にあっても、組合としての支援体制を整え、各企業が安定した事業運営を実現できるよう努めてまいります。

新たな年が、組合員の皆様にとりまして飛躍の一年となりますよう、また当組合が地域社会からより一層信頼される存在となるよう、引き続きご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年の皆様のご健勝とご発展を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

# ご挨拶

建設コンサルタント協同組合 副理事長

## 山内 一晃

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より当協同組合の活動にご協力いただき、まことにありがとうございます。

2026年を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まずは年末12月8日に発生した青森県東方沖を震源とする地震で被災された皆様、関係各所の皆様におかれましては謹んでお見舞い申し上げます。私の会社も青森県八戸市に本社を構えており、NTTの鉄塔の破損、学校の基礎等建物の崩壊、港湾施設の崩壊・液状化などいたるところに傷跡を残しました。当社も食器棚が倒れ、パソコンのディスプレイの破損等少なからず損害を被っております。未だに商業施設、飲食店では通常営業ができず、年末年始の稼ぎ時にもかかわらず、ご苦労されている方もたくさんおられます。被災された皆様、地域の皆様におかれましては1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

世界情勢でも、世界各地での紛争が起こっており安定した生活ができない状況になっております。

日本では昨年、日本初の女性総理が誕生し、中国間では問題が発生しておりますが、働き方改革も少し緩和を思わせる動きがあり、我々経営層にとって有利に働く動きが出てまいりました。少しは期待したいと思っております。

さて、組合各社の皆様には、受注の確保、人員確保、技術継承など問題が山積している状態だと思えます。私の地元の高専でも来年土木卒業予定の県内就職がゼロという危機的な状況になっております。災害が増え、DXの対応など多種多様なニーズが増える中、中小・零細企業にとって、会社運営するにあたり困難な時代となって参りました。このような状況ではございますが、協同組合で相互に情報交換し合い、「相互扶助の精神」のもと組合員一丸となって頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、今後も理事役員一同、組合各社のため誠心誠意尽力していきます。今後も皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

皆様にはご自愛いただき、会員各社様、社員様、ご家族様にとって、よりよき1年になることをご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。



# ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤條 豪史

年頭のご挨拶をもうしあげます。

今年の京都の清水寺で発表される世相を表す漢字が「熊」、そして今年には60年に一度の丙午(ひのえうま)の年となりました。

先ずは今年のキーワードの「熊」について、建設コンサルタントという立場から実際に山林に入る環境調査や、山奥に入ることもある地質調査など、熊の出没は非常に危険であって、不安も払拭できないものと思います。クマ鈴やクマ除けスプレーなどがどの程度効果的であるかなど、どう対策をすれば良いのか確実な対策は見当たりません。

そんな中、令和7年11月14日付けでクマ被害対策等に関する関係閣僚会議により「クマ被害対策パッケージ」が決定され、19日には水管理・国土保全局より全国の河川管理者宛に「クマ被害対策パッケージ決定を踏まえた河川におけるクマ被害の取組について」という中で、河川における治水上に必要な浚渫及び伐採を行うことにより、クマ対策に資する可能性があることに留意して環境上に配慮して行うこととなりました。建設コンサルタント業務にとっても環境という視点がますます重要なテーマとなってくるものだと感じたところであります。

そして今年のキーワードが「丙午」ということですが、「丙」は「火の兄」を指し、陽のエネルギーを象徴し、物事を大きく広げる性質を表し、「午」もまた火の属性を持ち、躍動的なエネルギーを表し、この二つが重なる丙午は「天も地も火」という、60の干支の中でも最も激しいエネルギーが巡る年とされ、情熱と変化、挑戦と飛躍、リーダーシップという特徴を表すということです。

建設コンサルタント業界にとっての2026年以降については、「働き方改革の推進」によりこれまで残業が多くブラックな印象を持たれていたいわゆるオワコンという説が払拭され、環境を視野に入れた自然との共生、災害に強い社会インフラの整備をテーマに掲げ安全・安心を社会に提供する安定して稼げるホワイトな業界として、「60年に一度の丙午」を契機に生まれ変わる「飛躍元年」になるものだと感じているところであります。

最後に、念頭の挨拶については、明るい未来を見据えたプラス思考で考えていこうと思っております。100社を超える組合員の皆様と一緒にプラス思考で「丙午」の年を「飛躍元年」としていきたいと思っております。今後も、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



Table with 5 columns: 組合員会社名, 代表者氏名, 会社所在地, 組合加入年月日. Contains 119 entries of member companies and their details.

 KENCON COOP  
**JOURNAL**

編集／発行



〒110-0001  
東京都台東区谷中3-1-5 谷中ミハマビル 303号  
TEL. 03-5834-7760 FAX. 03-5834-7761  
URL <http://www.kencon-coop.or.jp>  
E-mail [webmaster@kencon-coop.or.jp](mailto:webmaster@kencon-coop.or.jp)